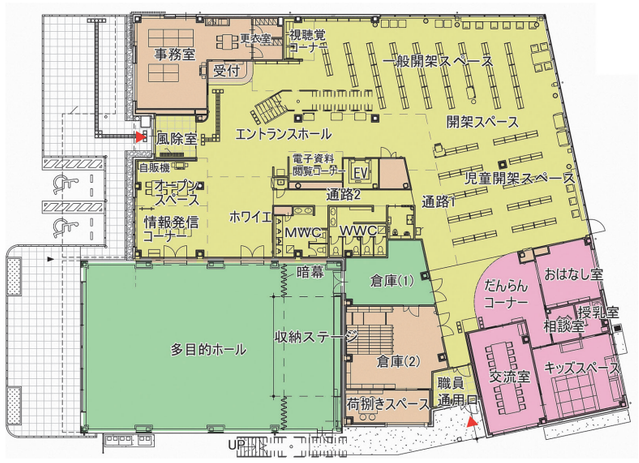
1階フロア



図書館

開架スペース、視聴覚コーナー、電子資料閲覧コーナー

子育て支援

だんらんコーナー、おはなし室、相談室、授乳室

■交流室

子育て講座や保護者の情報交換・交流の場

■キッズスペース

子どもの遊び場、子育て世代の交流の場

多目的ホール

約300人収容できるホールで、可動ステージを設置。世界遺産関連イベントの開催や講演会、成人式などの式典、社交ダンスなどの軽運動で利用できます。

公民館

■和室

茶道や華道、着付けなどで利用できるスペースです。

■調理実習室

料理教室、料理イベントなどの利用ができます。

■研修室

講演会や研修会、サークル活動に加えて予約のない時間には学習室として利用できるスペースです。

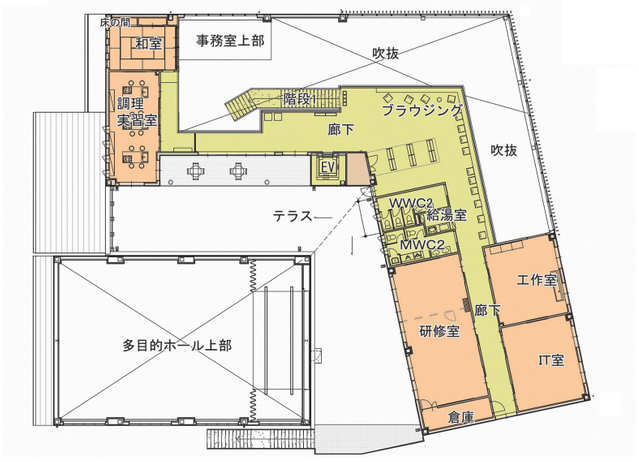
■工作室

工芸や絵画教室、陶芸、体験学習などの利用ができます。

■ＩＴ室

パソコン教室や調べものなどの利用ができます。

2階フロア

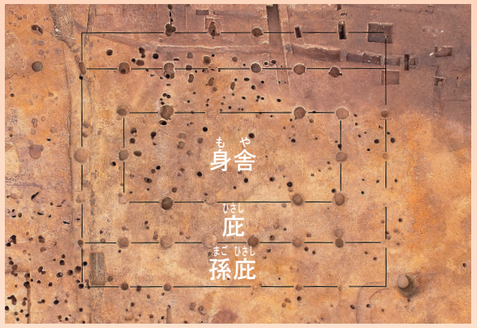


平泉を掘る

発掘最前線⑱

― 志羅山遺跡第118次発掘調査　その７ ―

今回の調査で見つかった掘立柱建物跡のうち、調査区中央の大型建物は東西南北の四方向に庇がある「四面庇建物」であることが分かりました（写真１）。これは、宴会儀礼などが行われていた格式の高い建物であり、奥州藤原氏と関係のある有力者の屋敷と考えられます。また、西端で見つかった建物跡（写真２）の柱穴の底には「礎板」とみられる板が敷かれていました（写真３）。



左／写真１　調査区中央の大型建物跡（上が北側）

広報９月号でも紹介した建物跡を上空から撮影しました。建物本体の身舎は東西12.5㍍×南北５㍍、庇も含めた建物全体の大きさは東西17.5㍍、南北15㍍あります。柱の並びがとてもきれいであることが特徴です。

上／写真２　調査区西端の建物跡（上が北側）

今回の調査で見つかったのは建物の東端で、西側の調査をしていない方へ広がります。全容は不明ですが、南北方向に長い建物になると想定されます。

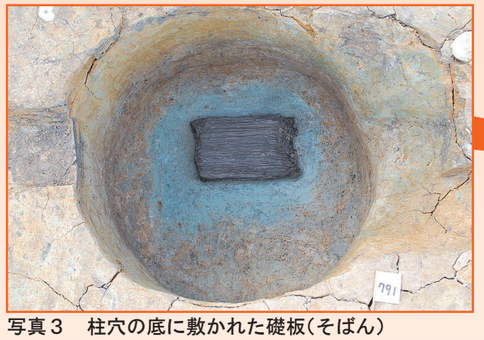


写真３　柱穴の底に敷かれた礎板（そばん）

礎板は建物の重さで柱が沈まないように柱の底に敷かれた板で、厚さは10㌢程度です。写真２の建物では６個の柱穴から礎板が見つかりました。古くなった柱材などを再利用している可能性があります。

令和３年度埋蔵文化財発掘作業員を募集します

■職務内容

①野外で埋蔵文化財発掘に伴う作業
②史跡（観自在王院跡）草刈り作業

■資格

男女問わずおおむね70歳までで自分で通勤できる健康な人

■勤務日

土・日・祝日を除いた、指定日（毎日ではありません）

■勤務時間…午前９時～午後４時

■給料…「平泉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に基づき支給

■募集人数

①は約60人、②は若干名

■申し込み方法

「町会計年度任用職員申込書」に必要事項を記入の上、文化遺産センターに本人が持参してください。受付時間は月～金までの午前８時30分から午後４時30分までです。

■申込期限…２月26日（金）まで

■その他

▽申し込んだ人全員が雇用されるとは限りません。
▽申込書は文化遺産センターで配布している他、町ホームページにも掲載しています。

■申し込み・問い合わせ先

平泉文化遺産センター
☎46－4012